

第116回医師国家試験

厳しい環境の中でも 健闘した学生たち

第116回新卒合格率ランキング

順位	大学名	合格率(%)	合格者数/受験者数
1	自治医科大学	100.0%	125/125
2	筑波大学医学専門学群	99.3%	144/145
3	浜松医科大学	99.2%	120/121
4	三重大学医学部	99.1%	112/113
5	慶應義塾大学医学部	99.1%	108/109
6	群馬大学医学部	99.1%	107/108
7	名古屋市立大学医学部	99.0%	82/83
8	横浜市立大学医学部	98.6%	73/74
9	秋田大学医学部	98.3%	116/118
10	近畿大学医学部	98.3%	116/118

慶應義塾大学の合格者数推移

年次	新卒合格者数	新卒合格率	既卒合格者数	既卒合格率	
2022年	116回	109/110	99.1%	2/5	40%
2021年	115回	108/110	98.2%	2/5	40%
2020年	114回	106/107	99.1%	4/8	50%
2019年	113回	107/111	96.7%	2/4	50%
2018年	112回	110/110	100%	2/6	33.3%
2017年	111回	107/110	97.3%	2/4	50%
2016年	110回	105/108	97.2%	0/4	0%
2015年	109回	108/108	100%	2/9	22.2%
2014年	108回	101/103	98.1%	1/6	16.7%
2013年	107回	95/97	97.9%	0/3	0%
2012年	106回	98/98	100%	1/3	33.3%

令和4年2月5日、6日に実施された第116回医師国家試験の合格発表が、3月16日に厚生労働省より行われた。第116回医師国家試験の受験者総数は10061人、合格者は9222人で全体の合格率は91.7%であった。昨年より0.3%増加した。

合格基準は、①必修問題158点以上、②臨床実問題21.1%、③臨床実問題21.1%、④臨床実問題21.1%、⑤臨床実問題21.1%、⑥臨床実問題21.1%、⑦臨床実問題21.1%、⑧臨床実問題21.1%、⑨臨床実問題21.1%、⑩臨床実問題21.1%、⑪臨床実問題21.1%、⑫臨床実問題21.1%、⑬臨床実問題21.1%、⑭臨床実問題21.1%、⑮臨床実問題21.1%、⑯臨床実問題21.1%、⑰臨床実問題21.1%、⑱臨床実問題21.1%、⑲臨床実問題21.1%、⑳臨床実問題21.1%、㉑臨床実問題21.1%、㉒臨床実問題21.1%、㉓臨床実問題21.1%、㉔臨床実問題21.1%、㉕臨床実問題21.1%、㉖臨床実問題21.1%、㉗臨床実問題21.1%、㉘臨床実問題21.1%、㉙臨床実問題21.1%、㉚臨床実問題21.1%、㉛臨床実問題21.1%、㉜臨床実問題21.1%、㉝臨床実問題21.1%、㉞臨床実問題21.1%、㉟臨床実問題21.1%、㊱臨床実問題21.1%、㊲臨床実問題21.1%、㊳臨床実問題21.1%、㊴臨床実問題21.1%、㊵臨床実問題21.1%、㊶臨床実問題21.1%、㊷臨床実問題21.1%、㊸臨床実問題21.1%、㊹臨床実問題21.1%、㊺臨床実問題21.1%、㊻臨床実問題21.1%、㊼臨床実問題21.1%、㊽臨床実問題21.1%、㊾臨床実問題21.1%、㊿臨床実問題21.1%



発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160-8582
東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64996
会員については会費を
に購読料が含まれ
発行人 武田純三
毎月1回20日発行



信濃町駅前・各種診療
慶應義塾大学病院
外来診療時間：午前8時45分～午後12時
午後1時～午後6時(土曜・日曜・祭日を除く)
電話：03-3353-1211(内線64996)



第26回慶應医学賞 受賞記念講演開催

2022年2月15日、第26回慶應医学賞受賞記念講演会がオンラインで開催された。カリコ博士は現在最も世界が注目しているCOVID-19の研究家として、カリコ博士ご自身の人生についてもお話された。

カリコ博士は、1997年に、HI-Virusの研究に力を入れた。HI-Virusの研究は、生物学者の興味を惹きつけた。カリコ博士は、生物学者として、分子生物学の分野で活躍している。カリコ博士は、生物学者として、分子生物学の分野で活躍している。カリコ博士は、生物学者として、分子生物学の分野で活躍している。

カリコ博士は、生物学者として、分子生物学の分野で活躍している。カリコ博士は、生物学者として、分子生物学の分野で活躍している。カリコ博士は、生物学者として、分子生物学の分野で活躍している。

「原因不明の重症新生児に対する迅速なゲノム診断の有用性」

慶應義塾大学医学部 研究報告

わが国の新生児死亡率は極めて低く、特に、早期産児に対する医療は世界最高水準にあります。しかし、新生児集中治療室に入院する新生児の約41%が、希少遺伝性疾患の分子遺伝学的診断が確定した患者です。一般的に、希少遺伝性疾患を患った児は、出生後期には非特異的な症状を示すことが多く、臨床診断が困難です。新近は、検査を行うことが難しく、自ら細かい症状を訴えることもありません。したがって、症状の進行も遅く、早期の診断、治療開始する必要があります。



式典は日吉記念館で開催



晴れの日を迎えた卒業生たち

2021年度卒業式 医学部109名が社会へとはばたく

3月23日、日吉記念館にて2021年度卒業式が行われた。昨年度引き続き本年度もOVI-D-19の影響参加者は卒業生と一部関係者に限定され、午前9時に開始された。

後の部の2部制での開催となった。また、会場に参列できない保護者に向けて式典の様子はオンラインで配信された。

医学部を含む7学部で合計109名の卒業生が、卒業式に出席した。卒業式は、卒業生から代表者として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。卒業生からは、卒業生代表として、学部長が挨拶を行った。

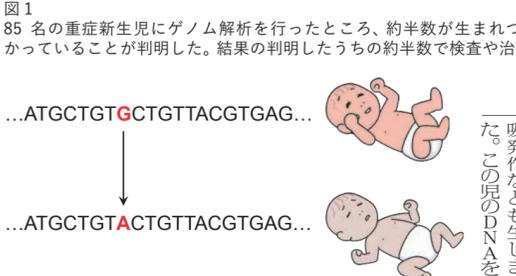
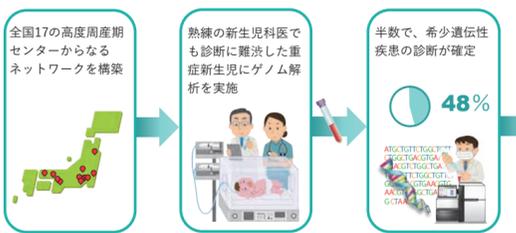


図1 85名の重症新生児にゲノム解析を行ったところ、約半数が生まれつきの遺伝性疾患にかかっていることが判明した。結果の判明したうちの約半数で検査や治療方針が変更された。

図2 DNAの30塩基対のうち、たった一塩基の変化によって、極めて重い症状の生まれつきの疾患が発症する。

図2 DNAの30塩基対のうち、たった一塩基の変化によって、極めて重い症状の生まれつきの疾患が発症する。

「原因不明の重症新生児に対する迅速なゲノム診断の有用性」

「原因不明の重症新生児に対する迅速なゲノム診断の有用性」